



2022年8月15日

株式会社 阿波銀行

有限会社西阿運送の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社西阿運送（代表取締役 遠藤 圭介、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社西阿運送
所在地	徳島県美馬市脇町大字脇町字大堀 761 番地の 4
代表者	遠藤 圭介
業種	一般貨物自動車運送業
設立	1961 年 7 月 28 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月15日



有限会社西阿運送 代表取締役 遠藤 圭介

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	貧困・飢餓の撲滅	すべての人々が健やかに暮らせる社会の実現のため、相対的貧困や飢餓をなくす活動に取り組めます。	① (1)子どもたちの教育のために本の寄贈 (2)徳島子ども食堂ネットワークへの寄付 (3)徳島子ども食堂ネットワークへの協力 (4)美馬市の子ども食堂への寄付 (一般社団法人つなぐ Mima World Community)		
			② (1)年1回寄付 (2)年1回寄付 (3)食材等の保管施設として自社倉庫に冷蔵庫を設置し、場所を提供 (4)年1回寄付		
社会・経済	働きがい	社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	① (1)方針・社内規程の見直し (2)労働時間の削減		
			② 働きやすい職場認証制度の三ツ星取得 (現在一ツ星取得)		
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	① 美馬市内の配送において、EV車へ移行		
			② 2030年までに10台		
社会	パートナーシップ	地域の小規模事業者や行政との連携をはかり、美馬市の発展に貢献します。	① 災害民間物資拠点として協力・登録		
			① 災害時、自社倉庫を物資拠点として支援物資の輸送や搬出入で協力		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。